

小林恭子の ロンドン発 グローバル随想

第18回

故ダイアナ元妃を 「欺いた」BBC



イラスト・題字：長峯亜里

1997年8月31日早朝、パリ。日本時間の同日昼頃、ダイアナ元皇太子妃が亡くなった。皆さんの中にも、当時を記憶している方は多いのではないだろうか。元妃は滞在中のパリで交通事故に遭い、重傷を負って近くの病院に運ばれたが数時間後に死亡した。享年36歳である。

亡くなる約2年前の1995年11月、BBCの調査報道番組『パノラマ』はダイアナ元妃に単独インタビューした。夫チャールズ皇太子の不倫について触れ、元妃は「私たちの結婚には3人いた」と述べた後、「だから、混んでいた」とジョークを付け加えた。国内では約2300万人が視聴し、大きな注目を集めた番組だった。翌96年、夫妻は離婚するが、この番組が1つのきっかけをつくったという人もいる。

放送から25年以上となる今年5月、この番

組を巡ってBBCが大揺れとなった。BBCの記者がダイアナ元妃のインタビューを取り付けるために不正行為を働き、BBC経営陣はその事実を隠ぺいしていたとする調査報告書が出たのである。

盛大な結婚式から別居、離婚へ

インタビュー前後の状況を振り返ってみる。

名門スペンサー家の3女として生まれたダイアナ元妃。1981年、ロンドンの聖ポール大聖堂でチャールズ皇太子と盛大な結婚式を挙げた。20歳になったばかり。皇太子は33歳で年齢差があったが、ウィリアム王子、ヘンリー王子の2人の子どもが生まれ、幸せの絶頂のように外から見えた。しかし、王室の公務や家庭生活に悩みを抱えるようになった元妃は自傷行為や摂食障害で苦しんだ。夫婦関係も破綻に向かい、皇太子はかつての愛人カミラ・パーカー・ボウルズ夫人とよりを戻した。元妃自身も複数の男性と不倫関係をもち、92年12月、2人は正式に別居を宣言した。

結婚前からメディアの注目の的となっていたダイアナ元妃。その一挙一動をメディアが執拗に追った。夫妻の関係悪化もメディアを通して公になったが、夫妻自ら、あるいは関係者が情報を提供する場合も少なくなかった。92年6



BBCの調査報道番組「パノラマ」は故・ダイアナ元妃のインタビューを検証する番組を今年5月20日、放送した(BBCのウェブサイトより)